
放課後の教室で

蒼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

放課後の教室で

【Nコード】

N1012B

【作者名】

蒼

【あらすじ】

日直になってしまった女の子の最悪で最高の放課後

（前書き）

今回も短いです（・・；）読んで貰えたら幸いです。

『ふー』

やっと終わった。

今ちょうど学級日誌が書き終わった。

現在の時刻は午後5時15分。

教室には私だけ。

大分遅くなってしまった。

何でこのクラスは日直がひとりだけ何だろう？

（めんどくさいなー。）

『はー』

誰も居ないことを良いことに大きな溜め息をつく。

帰るのもめんどくさくなってきた。

（けど、帰らなきゃな）
帰らなくては親が怒る。

本当めんどくさい。

仕方なく帰る準備を始める。

時間をかけて。

ただたくさん荷物があるわけでもなく準備もすぐ終わってしまっ
た。

『帰るの面倒だな 』

けどしかたない。

重い腰を椅子から上げた。
ガラガラッ

何の予告もなしに突然教室の扉が開いた。

驚きそちらに顔を向けるとゼイゼイと息を切らし苦しそうに呼吸を
繰り返す同じクラスの男の子の姿。

何事かと思った。

だってもう6時近い。

『どうしたの？』

まだ息を切らしている男の子・西藤くんに声をかけた。

『えっ ゲホッゲホッ あっ、ゴ、ゴメン。い、急いで き
た、から。』
ずいぶん急いで来たらしい。

また何度が咳こんだ。

『どうしたの？』

西藤くんの息が整うのを待ってもう一度聞いてみる。

『えっ あ そうだった。えーっとあの』

少し間が空く。

『あのっオレ、井上に言いたいことがあって その』

井上とは私の名字だ。私に何の用だろう？

『えっと』

何だろう。

何でか少し胸がドキドキするような気がする。

『あのっ良かったら付き合ってもらえないかな？』

今日是最悪な一日だった。
けど最高の一日でした。

ちなみに返事は　OKだよ。
私も好きだったから。

（後書き）

今回も短くなってしまったよ（泣）評価してくれた菜緒さんすいま
せん（- - ;） もの凄く短いです。 他にも
感想や文句言ってもらえたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1012b/>

放課後の教室で

2011年1月16日09時31分発行